

【山崎主宰の俳句】

おわりのはじまり

山崎 聰

きょうだけは溺愛されて兜虫
雲の峰目鼻崩れて忘れらる
一瞬の齟齬そのあとの蟬の声
逝き遅れしか八月のあぶらぜみ
残り蚊とたたかう力あるにはある
耳やわらかく九月はじめの第一歩
滅びつつ滅ぶ倭の国蚯蚓鳴く
地震津波竜巻出水生きていま
おわりのはじまりか列島霧深し
手を振って別れてきしが今朝の秋